

東京シニアクラブ

江戸情緒満載の小江戸「川越」の散策と豪華な食事に満足

今回で第17回となるJAM東京シニアクラブ「東京・街歩き」は、4月25日(火)江戸情緒満載の小江戸「川越」散策を企画した。午前10時、西武新宿線の終点になる「本川越駅」に集合し晴天に恵まれ52名が参加した。

最初の散策ポイントは「喜多院」。奈良時代までさかのぼるといふ古刹で、江戸城から移築したといふ「家光誕生の間」、「春日局の間」や、有名になっている「五百羅漢」を拝観。その後のんびりと20分ほど歩いて「川越市立博物館」へ。川越の歴史に関する資料が展示されていて、案内の方の説明もわかりやすく、日を改めてもう一度訪ねてみたいとの声も。

川越見物のメインコースとなっている「菓子屋横丁」、「時の鐘」、そして約20棟の蔵が軒を連ねる「蔵造りの町並み」を自由にみてまわり、最後の観光ポイントとなる「蓮馨寺(れんけいじ)」に集合して、散策は無事終了した。

昼食はやや遅くなったが、120年の歴史を持っていたといふ酒蔵を改造した「小江戸蔵里(くらり)」という産業観光館の中にある「まかない処・八州亭」で、古家会長の挨拶に続いて乾杯。のんびりしながらも良く歩いたので、喉越しのビールも美味しく、豪華な食事を囲んで話が弾んだ。

午後3時、次回の「街歩き」での再会を誓い合いながら解散した。



喜多院前での全員集合写真！皆さん良い顔しています